

# 平成 2 6 年度概算要求 主要事項の概要

文部科学省国際統括官

## **1. 持続可能な開発のための教育（ESD）を通じたグローバル人材の育成 【新規】 1,043百万円**

2002年に日本政府が提案し、国連総会において2005年からの10年を「国連持続可能な開発のための教育（ESD）の10年」とすることが決議されて以降、国内のユネスコスクールを中心としてESDを推進しているところである。今後我が国の学校等においてESDを更に普及促進し、「体系的な思考力」、「コミュニケーション能力」、「国際的視点からものごとを考える力」等グローバル人材に必要な素養を初等中等教育段階から育む。

### **(1) 持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議の開催 【新規】 (974百万円)**

ESDの10年を総括し、2014年以降も国内外において更にESDを推進していくことを目的に、愛知県名古屋市において「閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合」、岡山県岡山市において「ユネスコスクール世界大会等ステークホルダーの主たる会合」を開催し、本会議を通じて児童生徒、教員等のESDに関する意識・関心を一層高め、国内におけるESDの普及促進を図る。

### **(2) ESD推進のためのコンソーシアムの形成 【新規】 (69百万円)**

教育委員会及び大学が中心になり、ユネスコ協会及び企業等の協力を得つつ、ESDの推進拠点であるユネスコスクールとともにコンソーシアムを形成し、国内におけるESDの実践・普及及び国内外における学校間の交流等を促進する。

# 持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議の開催

平成26年度要求額  
974百万円（新規）

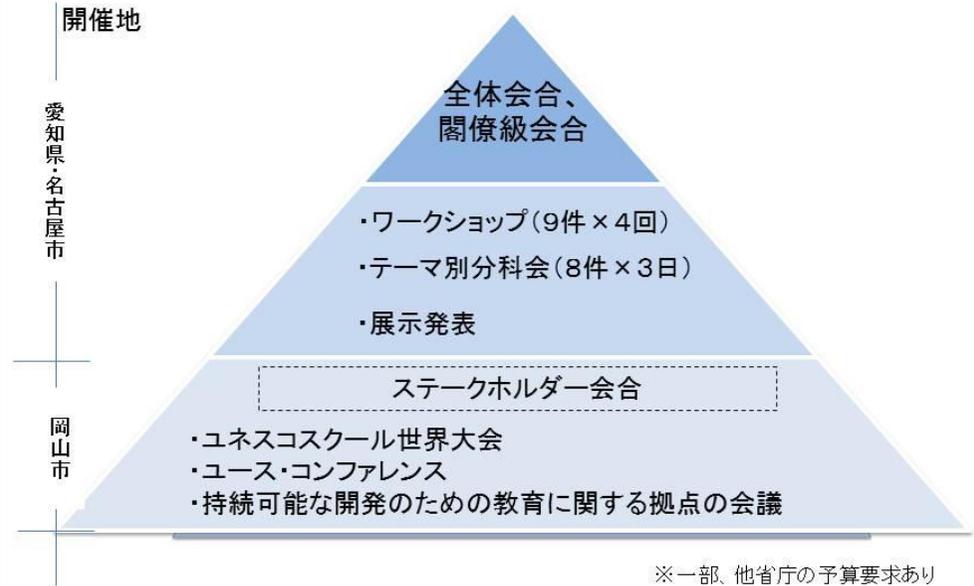
## 事業概要・目的

「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」開催経費。「国連ESDの10年（2005（平成17）年から2014（平成26）年）」の活動を総括し、2014年以降も国内外においてESDを更に推進することを目的とする。

## 期待される効果

- 「国連ESDの10年」の提案国として本会議を開催することで、国外におけるESDの推進と、日本のユネスコ加盟国に対するプレゼンスの向上が期待される。
- ESDは、教育振興基本計画等にも盛り込まれている重要な概念であり、本会議の開催を通じて国内でのESDの推進が期待される。

## 会議構成



## 会議日程等

区分	場所	日時	説明
閣僚級会合及び全体のとりまとめ会合等	愛知県 名古屋市	2014(平成26)年 11月10～13日	1,000名の参加者を伴う日本政府及びユネスコ主催の世界会議
ステークホルダーの主たる会合	岡山県 岡山市	2014(平成26)年 11月4～8日	閣僚級会合及び全体のとりまとめ会合等に意見を反映させる3つの会議 ①ユネスコスクール世界大会（11月6～8日） ②ユース・コンファレンス（11月7日） ③持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議（11月4～7日）

# ESD推進のためのコンソーシアムの形成

平成26年度要求額  
69百万円(新規)

教育委員会及び大学が中心となり、ユネスコ協会及び企業等の協力を得つつ、ESDの推進拠点であるユネスコスクールとともにコンソーシアムを形成し、ESDの実践・普及及び国内外におけるユネスコスクール間の交流等を促進する。コンソーシアムに置かれるESDコーディネーターにより、教育委員会、大学、ユネスコ協会及び企業等のコンソーシアムメンバーの活動・連携の促進、学校、社会教育施設等の域内でのESDに関する連携強化及び国内外における交流の円滑化を図る。これにより、グローバルに活躍するために求められる資質・能力を育むESD活動の幅を広げ、学校に限らない広範な普及を図り、国際的視野を持つグローバル人材の裾野を広げる。

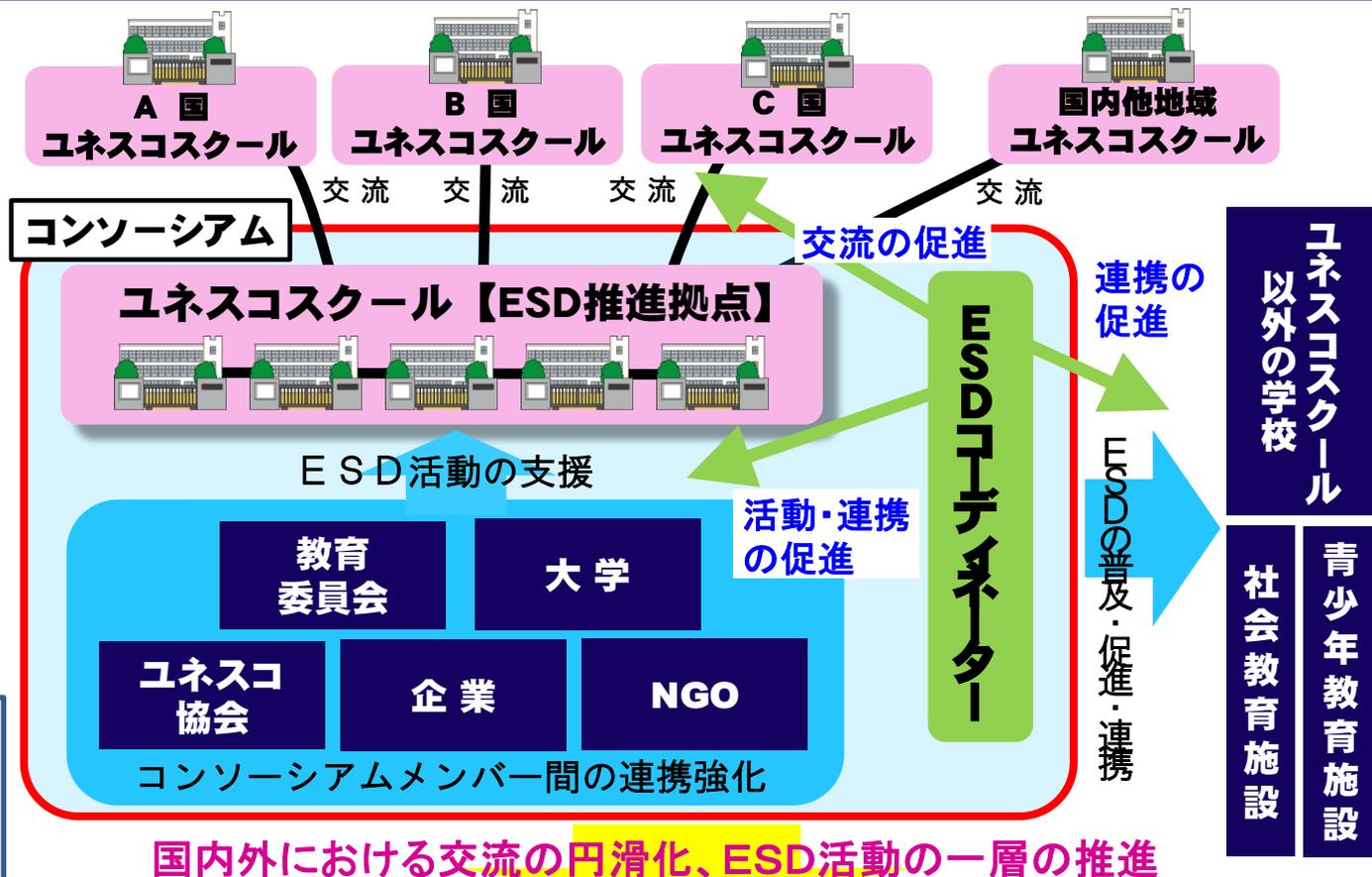
## コンソーシアムの機能

- ・国内外の学校との交流促進・ESD活動の支援
- ・コンソーシアムメンバー間の連携強化
- ・社会教育施設等との連携強化
- ・域内の学校等へのESDの普及・促進

10百万～13百万円程度  
×5～7件程度

## ESDを通じて育まれる力

- ・持続可能な開発に関する価値観
- ・体系的な思考力
- ・代替案の思考力
- ・データや情報の分析能力
- ・コミュニケーション能力
- ・リーダーシップの向上



国内外における交流の円滑化、ESD活動の一層の推進

グローバル人材の裾野拡大